

# 医療プロフェッショナルリズムⅢ

## 1) Pre-CC OSCE 対策準備実習

## 2) 研究プロジェクト準備実習

[M3-20016Z1]

### 1 ユニットの概要と実習目標

- ① 医学生は臨床実習開始前に、Pre-CC OSCE (Pre-Clinical Clerkship OSCE: 診療参加型臨床実習前客観的臨床能力試験) に合格することが必須である。臨床実習に臨むには患者の心身に配慮した面接態度や基本的な身体診察の技能の修得が求められる。本実習ではその準備段階として、実習生として能動的に行動できるように必要な知識と技術の統合を目的とし、車椅子やシミュレータ等を用いた実践的プログラムを展開する。学生が、診療チームの一員としての役割と責任を理解し、Pre-CC OSCE および将来の臨床実習において必要とされる技能と態度を身につけることを目指す。
- ② 医学研究の重要性を理解し実践するための基礎的能力を身につけるために、研究プロジェクトを体験し、分析的で批判的思考、科学的手法の原理、医学研究の手法などを学ぶ。
- ③ 第1、第2学年での学びを土台に、行動科学の学びを継続する。

### 2 金沢医科大学の到達目標 (アウトカム)

- ①患者中心・コミュニケーション・チーム医療
- ②医学知識と技能
- ③豊かな人間性と倫理観
- ④生涯学習
- ⑤地域医療・社会貢献
- ⑥科学的態度・探究心

### 3 ユニットの到達目標 (アウトカム)

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- (1)療養環境を述べることができる。(①)
- (2)対象者(患者役)の体位を替えることができる。(①②)
- (3)対象者(患者役)を車椅子に移乗することができる。(①②)
- (4)車椅子を操作して患者を移動することができる。(①②③)
- (5)バイタルサイン測定の実施と報告ができる。(①②③⑥)
- (6)上記(2)～(5)実施に際して下記に留意した言動を実施できる。(①②⑥)

- ・対象者の価値観を尊重し、良好な関係性を築く。
  - ・対象者に対して観察を施し、プロブレムの発見に努める。
  - ・対象者の安全・安心を損なうことなく、苦痛や不安に配慮して接する。
  - ・自分の能力の限界を知り、対象者に接する。
- (7) POS 方式 (Problem Oriented System: 問題志向型システム) の記録の概要を説明することができる。(②⑥)
- (8) 自己肯定感の向上に取り組むことができる。(①②③)
- (9) 医学研究の重要性および医師および研究者の活動について理解し、説明することができる。(①②⑥)
- (10) チームに貢献し、研究プロジェクトを実践することができる。(①②⑥)

## 4 学習方略

- ① Pre-CC OSCE を視野に入れた実習を基軸とすることから、実習の準備として、技術に関連する知識の予習が必須となる。看護実習室およびC S Cでの実技では、知識に基づく実践を行うことで、実習後のフィードバックをPre-CC OSCE および臨床実習に活かせるようにする。
- ② 講義、実習 (グループでの研究プロジェクトの実践)、研究発表など多彩な形式の授業を行う。第4学年で研究成果についてポスターを作成し発表する(全学に公開)。優秀グループは、日本医学教育学会などでの発表の機会を得られることがある。

「医療プロフェッショナリズムⅢ」の全ての授業に関してポートフォリオを作成し、自ら学修を計画し自分の学修をモニターする。ポートフォリオを活用し、自身の学修を振り返り(省察: reflection)、改善する。学修の成果を証拠 (エビデンス: evidence) として整理してポートフォリオに綴じ、自身の学修内容の総合的な評価を受ける。ポートフォリオをもとに、自身の学修内容を説明できるようにする。

- ・電子シラバスに掲載されている資料は全て必ず事前に印刷してポートフォリオに綴じ、予習して講義に臨む。
- ・講義や実習中は重要な事項をルーズリーフなどに書き込み、ポートフォリオに綴じる。
- ・予習や復習時に自ら作成した資料類を整理し、全てポートフォリオに綴じる。

## 5 評価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	学習態度(受講態度・実習態度・身だしなみ、レポートおよびポートフォリオ作成、提出状況)	態度	/
	レポート(理解力、思考力、説明能力)	知識・技能	
総括的評価	実習1, 2 ①実習態度(身だしなみ含む) ②レポート	技能・態度	50%
	事前学習・実習振り返り	知識・態度	30%
	ポートフォリオ	知識・技能	20%
合 計			100%
<p>1) 学習成果は実習（態度やレポート）、ポートフォリオなどから総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習は必須であり、正当な理由なく実習が未修了あるいは不合格の場合は、ユニット成績が不可となる。また、最終判定試験の受験資格を失う可能性がある。なお、実習日程は変更となる可能性があるので注意する。</li> <li>・ 教員が定めた正式な書式（実習要項参照）に従わないレポートは不合格とし再提出対象となる。</li> <li>・ レポートおよびポートフォリオが期日までに提出されない場合は、減点対象となる。</li> <li>・ 正当な理由なくレポートおよびポートフォリオが提出されない場合は、ユニット成績が不可となる。また、最終判定試験の受験資格を失う可能性がある。</li> <li>・ 不正なコピー&amp;ペーストは剽窃と見なす。剽窃はカンニング同様の不正行為であり、ユニット成績が不可となる。</li> </ul> <p>2) 随時電子シラバスで必要な情報を得ること。電子シラバス未アクセスは減点となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原則、パソコンからのアクセスが必要である。スマートフォン・タブレットからのアクセスは認めない。</li> </ul> <p>3) 実習中、医学生として不適切な態度（実習要項参照）を禁ずる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不適切な態度が見られた場合は減点対象となり、ユニット成績が不可となる可能性がある。</li> </ul> <p>4) ポートフォリオ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポートフォリオは学習成果の集積である。自己省察を通じて知識、技能、態度あるいは理解の向上、およびプロフェッショナルとしての成長を示す証（エビデンス）となる。</li> <li>・ 学習内容、自学の内容を整理・ファイリングして学習に活用する。ファイルは適時確認のために回収するので、いつでも提出可能な状態にしておくこと（提出日直前の連絡もあるので注意する）。評価はユニット終了時に行う。</li> <li>・ 各資料は、ファイルする意味を考えて選択する。</li> <li>・ テキストや参考書、他人のノートのコピーなどは評価の対象とならない。</li> <li>・ 配布物そのままや、電子シラバスの教材資料を印刷しただけで、書き込みもなく、学習に利用した形跡がない場合は評価の対象とならない。整理された自己学習のエビデンスであることが重要である。</li> <li>・ 電子端末経由で書き込み学習をした場合は、自分で印刷してファイリングする。</li> </ul>			

## 6 授業スケジュール

別項参照

## 7 事前・事後学修について

- 1) 事前に電子シラバスにアクセスする。電子シラバスには予習範囲などが示されているので予習する。提示されている資料などは必ず印刷し、授業に持参する。
- 2) 授業終了時、当日中に復習を行い、学習内容を整理してポートフォリオファイルに綴じる。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習 45 分、復習 45 分

## 8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

ユニットの途中で行うレポートを含む形成的評価については、授業中あるいは電子シラバスで適宜フィードバックを行う。

## 9 教育担当者

ユニット責任者： 堀 有行 医学教育学

担当教員： 堀 有行 医学教育学

久司 一葉 一般教育機構 医療コミュニケーション学（実習 1 責任者）

八木 邦公 医学教育学（実習 2 責任者）

山田 和徳 医学教育学

西川 正志 医学教育学

佐々木美保 一般教育機構 医療コミュニケーション学

石丸 宏 クリニカル・シミュレーション・センター

石浦 夕奈 クリニカル・シミュレーション・センター

山下 敬吾 クリニカル・シミュレーション・センター

澁谷 良穂 一般教育機構 英語

池中 雅美 一般教育機構 英語

高井 一美 一般教育機構 英語

## 10 参考図書・文献

特になし。参考情報源は各授業・電子シラバスで提示する。

## その他

実習中の万一の事故等については、医学生総合保険を適用する。

以上

第3学年

医療プロフェッショナリズムⅢ

[B]

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
前	1	7月01日 (月)	1	講義	(仮)病院内での感染症対策	A-1	感染制御室、一般教育機構 医療コミュニケーション学、英	野田課長、久司、澁谷、 池中、高井、西川
前	2	7月01日 (月)	2	講義	(仮)患者と医療従事者、病棟	A-1	看護部、一般教育機構医療コ ミュニケーション学、英語	看護副部長、久司、澁 谷
前	3	7月01日 (月)	3	講義	ガイダンス、チーム医療、実習オリエンテーション	A-1、A-3	医学教育学、一般教育機構医 療コミュニケーション学、英語	堀、八木、西川、久司、 澁谷、池中、高井
前	4	7月01日 (月)	4	実習	研究プロジェクト準備実習:ガイダンス	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	5	7月01日 (月)	5	実習	研究プロジェクト準備実習:科学的研究の意義	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	6	7月01日 (月)	6	実習	研究プロジェクト準備実習:医学研究と批判的思考	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	7	7月02日 (火)	1	実習	研究プロジェクト準備実習:統計学的処理	A-8、B-3	医学教育学	櫻井
前	8	7月02日 (火)	2	実習	研究プロジェクト準備実習:医学研究と倫理	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	9	7月02日 (火)	3	実習	研究プロジェクト準備実習:医学研究に関する法令	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	10	7月02日 (火)	4	実習	研究プロジェクト準備実習:研究課題の検討	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	11	7月02日 (火)	5	実習	研究プロジェクト準備実習:文献等の精査	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	12	7月02日 (火)	6	実習	研究プロジェクト準備実習:研究課題の決定	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	13	7月03日 (水)	1	実習	研究プロジェクト準備実習:研究計画書の作成	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	14	7月03日 (水)	2	実習	研究プロジェクト準備実習:研究デザインの検討	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	15	7月03日 (水)	3	実習	研究プロジェクト準備実習:研究デザインの決定	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	16	7月03日 (水)	4	実習	研究プロジェクト準備実習:仮説の生成	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	17	7月03日 (水)	5	実習	研究プロジェクト準備実習:情報・データの収集	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	18	7月03日 (水)	6	実習	研究プロジェクト準備実習:情報・データの精査	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	19	7月04日 (木)	1	実習	研究プロジェクト準備実習:情報・データの分析	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	20	7月04日 (木)	2	実習	研究プロジェクト準備実習:結果解析	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	21	7月04日 (木)	3	実習	研究プロジェクト準備実習:結果解析	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	22	7月04日 (木)	4	実習	研究プロジェクト準備実習:研究成果の公表の仕方	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	23	7月04日 (木)	5	実習	研究プロジェクト準備実習:研究成果報告会準備	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	24	7月04日 (木)	6	実習	研究プロジェクト準備実習:研究成果報告会準備	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	25	7月05日 (金)	1	実習	研究プロジェクト準備実習:研究成果報告会準備	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	26	7月05日 (金)	2	実習	研究プロジェクト準備実習:研究成果報告会準備	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	27	7月05日 (金)	3	実習	研究プロジェクト準備実習:研究成果報告会	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	28	7月05日 (金)	4	実習	研究プロジェクト準備実習:研究成果報告会	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	29	7月05日 (金)	5	実習	研究プロジェクト準備実習:研究成果報告会	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川
前	30	7月05日 (金)	6	実習	研究プロジェクト準備実習:振り返り	A-8、B-3	医学教育学	八木、山田、西川

【B】

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講義名	教員名
前	1	7月29日 (月)	1	講義	自己肯定感と思いやりプログラム2	A-1	医学教育学、一般教育機構医療コミュニケーション学、英語	堀、佐々木、久司、澁谷、八木、山田、西川
前	2	7月29日 (月)	2	講義	自己肯定感と思いやりプログラム2	A-1	医学教育学、一般教育機構医療コミュニケーション学、英語	堀、佐々木、久司、澁谷、八木、山田、西川
前	3	7月29日 (月)	3	講義	POS方式 (Problem Orieted System : 問題志向型システム)	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学、英語、医学教育	久司、西川
前	4	7月29日 (月)	4	実習	ベッドメイキング1	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	5	7月29日 (月)	5	実習	ベッドメイキング2	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	6	7月29日 (月)	6	実習	ベッドメイキング3	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	7	7月30日 (火)	1	実習	体位変換1	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	8	7月30日 (火)	2	実習	体位変換2	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	9	7月30日 (火)	3	実習	体位変換3	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	10	7月30日 (火)	4	実習	車椅子への移乗・移送1	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	11	7月30日 (火)	5	実習	車椅子への移乗・移送2	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	12	7月30日 (火)	6	実習	車椅子への移乗・移送3	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	13	7月31日 (水)	1	実習	バイタルサイン測定1	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	14	7月31日 (水)	2	実習	バイタルサイン測定2	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	15	7月31日 (水)	3	実習	バイタルサイン測定3	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	16	7月31日 (水)	4	実習	バイタルサイン測定4	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	17	7月31日 (水)	5	実習	バイタルサイン測定5	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	18	7月31日 (水)	6	実習	バイタルサイン測定6	A-1,A-3	一般教育機構医療コミュニケーション学	久司
前	19	8月01日 (木)	1	実習	バイタルサインステーション準備1	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	20	8月01日 (木)	2	実習	バイタルサインステーション準備2	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	21	8月01日 (木)	3	実習	バイタルサインステーション準備3	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	22	8月01日 (木)	4	実習	バイタルサインステーション準備4	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	23	8月01日 (木)	5	実習	バイタルサインステーション準備5	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	24	8月01日 (木)	6	実習	バイタルサインステーション準備6	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	25	8月02日 (金)	1	実習	バイタルサインステーション1	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	26	8月02日 (金)	2	実習	バイタルサインステーション2	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	27	8月02日 (金)	3	実習	バイタルサインステーション3	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	28	8月02日 (金)	4	実習	バイタルサインステーション4	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	29	8月02日 (金)	5	実習	バイタルサインステーション5	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司
前	30	8月02日 (金)	6	実習	バイタルサインステーション6	A-1,A-3	CSC、一般教育機構医療コミュニケーション学	CSCスタッフ、久司